



新春の誠和藤枝病院



藤枝市中ノ合²⁶⁻¹かい
医療法人社団^{しま}八洲会
誠和藤枝病院
(054) 638-3111(代)

診療時間
月～金
午前 9:00～午後 5:00
土曜日
午前 9:00～正午 12:00

『誠和藤枝病院に勤務して』

医療法人社団八洲会常勤監査役 上山 千歳

辺り一面田園風景の中に、建設中の誠和藤枝病院仮事務所で、初代事務長に応募説明を受けた事が、今から二十年前の事でした。平安閣で採用試験を受け、平成元年四月一日、入職日となり、葉梨中学校の土手沿いの見事な桜並木に感動しながら初出勤しました。私にとつて“老人病院”という初めての言葉に、わくわくしながら、正面玄関が開くまで、新入職員一同で長い列を作り、待っていた事が、まるで昨日の事のように、鮮明に脳裏に浮かんできます。一ヶ月経ったある日、石坂院長より“紫式部”の鉢植えをいただきました。自宅の庭で、今も毎年夏になると、淡紫色の可憐な花が咲き、私にとって、大切な記念となっております。

誠和藤枝病院は、清水の山の上病院に続いて、中部地区で二番目の老人病院として開院しました。当時の私自身も、お年寄り対象の施設は老人ホーム(身寄りのない方の施設)だけしか認識がなく、患者様、ご家族様にどのような説明し、ご理解いただけるのか挑戦の毎日でした。平成元年十二月には、医療法人社団“八洲会”が発足

し、平成七年には“袋井みつかわ病院”が、平成十六年には“はいなん吉田病院”がそれぞれ開院し、三病院となりました。その間、沢山の皆様との出会いを経験させていただき、大変勉強になりました。

国の老人医療への施策も、誠和藤枝病院開院と時を同じくして、平成元年に、寝たきり老人解消に向けて“高齢者保健福祉推進十カ年戦略(ゴールドプラン)”が策定されました。その後は、お年寄りへの施策が本格化し、毎年のように種々な制度改正がみられ、平成十二年、いよいよ介護保険制度がスタートした訳です。

昨年は、自民党から民主党中心の連立政権に変わりました。日本は、これから、私を含めてますますお年寄りが増えていきます。医療業界も、政治の動向によって、先行き不透明な面が多々あるのではないかと思われまます。その時その時を、よく見据えて、地域に密着した、皆様のお力になれる病院として、一翼をになえるようにと思っております。

私も八洲会の一員として、微力ながら頑張っていきたいと考えております。



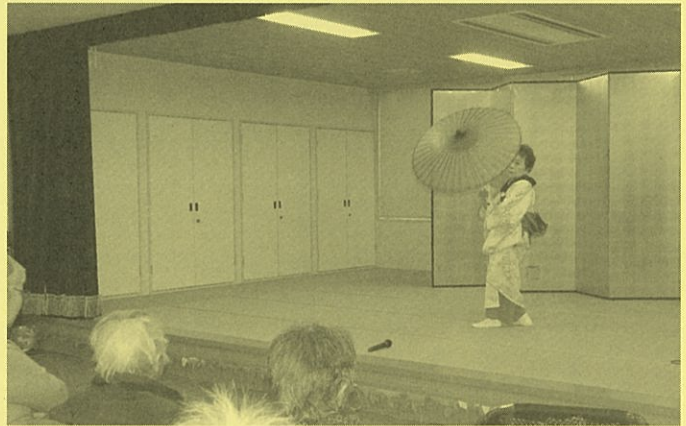
開院当時の誠和藤枝病院

新年度に向けて

看護師長 青木美都

新しく、年が明けたと思ったら、早くも五ヶ月が過ぎようとしています。また、この時期になると、年度末の反省や新年度への準備のため忙しく、更に月日が経つのが早く感じられます。

昨年度の反省の中で、接遇委員会では、言葉遣い、身体拘束ゼロ推進委員会では拘束の問題が挙がっています。日々の忙しい業務の中、頭ではわかっていても、なかなか実行できないという職員の声がありました。この反省点を踏まえ、看護部における新年度の重点方針事項の一つとして、「患者様の人としての尊厳を守り、ニーズの充足に心がける」という目標を挙げました。看護・介護は技術職であると同時にサービス業でもあるという側面があります。自己の知識・技術の研鑽を積み患者様、御家族への適切な援助ができる事はもちろん、暖かい声かけ、言葉遣い、態度が自然とできる職員でありたいと願っています。



日本舞踊の鑑賞会

接遇委員会の活動

接遇委員会
2B看護主任 鈴木明美

『接遇』を辞書で引くと、「仕事上で人と応対する事、もてなす事」と有ります。私達の仕事はまさに、この接遇の心が大事な仕事だと思えます。接遇には、態度と言葉が有り、相手に与える印象はその人の態度と言葉で様々に変わります。そこで、当委員会では、身だしなみや言葉遣い、健康管理

等についての目標を定め、院内に掲示し、広く職員に提示しています。

平成二十二年度の年間目標は、「暖かみの有る言葉遣い」とし、毎月の月間目標も四月は「笑顔で挨拶」を掲げました。

これからも患者様が御家族が安心して、快適な入院生活を送れる様、そして職員にとっても快適な職場で有り続ける様に、様々な活動を続けて行きたいと思えます。

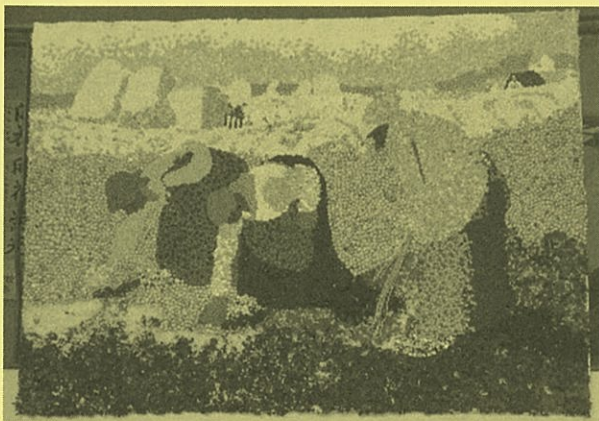
『身体拘束ゼロ』を目指して

身体拘束ゼロ推進委員会
1B介護主任 八木真弓

私が身体拘束ゼロ推進委員会に関わり始めて四年になります。きっかけは看護協会主催の研修に参加した事でした。私はそこで身体拘束が法律で禁止されている事を知り、人権についても学びました。それと同時に、認知症と正面から向き合う必要性を改めて感じました。

骨折しても痛みを忘れて歩こうとする方、食べ物でないものを口に入れてしまう方等。わかってい

るのはその解決策に安易に拘束を用いてはいけないという事です。先日月一回行われる身体拘束ゼロ推進委員会で一人一人の患者様に對し、しっかりとアセスメントし、ケアプランを立てる中で解決策を見出そうと話しました。看護協会会長の佐藤澄美先生が、「看護も介護も英語で言えば”ケア”病気により生きにくくなってしまった方を楽しく生きやすい状態に」という言葉が強く心に残っています。今後もその言葉を胸に活動していきます。



通所利用者様の作品「落穂拾い」

レクリエーション委員会より
レクリエーション委員会
マッサージ師 大関 浩道

二〇一〇年も早いもので五月に入り
入りました。ついこの前のことと
思われる正月明けの一月四

日に、空手道「大民塾」の子
子供達が空手を披露しに来
てくれました。小学校高学
年の子からまだ小学校に上
がる前の小さな子まで沢山
来てくれました。小さな子
供達とはいっても、(とは
いってもではなく、だから
こそでしょうか)「オス」、
「ヤア」と言った気合い
溢れる声、キビキビとした
突き、蹴りの一挙手、一投
足に患者様と共に職員まで
もが一年分の元気を貰えた
気分でした。

また二月には「ふじの
会」による歌、踊りで楽し
いひとときを過ごしまし
た。

レクリエーション委員会
では、月に一回は何かイベ
ントを企画し、患者様に気



小学生との交流会

分転換していただいたり楽しい時
間を過ごしていただけるよう活動
しております。今後も何卒御協力
よろしくお願いいたします。

新人紹介

感謝の気持ち

医療事務 落合田鶴子

先日亡くなった私の祖父は、六
年半の間、週に六日デイサービ
スにお世話になっていました。

「車椅子の不自由な体なのにとて
も良くしていただいた」と祖母は
大変感謝していました。そんな祖
母が私に「おじいちゃんのような患
者さんがたくさんいる病院で働か
せてもらっているんだね、患者さ
んの家族はきつとありがたいと
思っているだろうから、あなたも
一生懸命働いてね」と、言ってく
れました。

私が医療の現場で働き始めてか
ら四年ほど経ちますが、まだまだ
毎日が勉強の日々です。そんな中
で、患者様や患者様の御家族に対
して、少しでも何か出来ることを
探し、一日一日を大切に頑張っ
ていきたいと思っています。

今の私の職業観

2B看護師 有田江莉果

昨年の十一月から、縁あって当
院で働かせていただき、早いもの
で半年が過ぎようとしています。
以前より、御家族に代わって介
護、看護する立場の慢性期病院に
興味があり、経験したいと考えて
いました。

私は看護師の資格を習得し、四
月で三年目になりました。一年目
は産科、小児科、NICUの混合
病棟、二年目は消化器科、呼吸器
内科の混合病棟を経て、現在当院
の2B病棟で勤務させて頂いて
おります。急性期では退院を目
指し、看護を実践していく目標が
ありますが、退院後の患者様の生
活はその後もずっと続いていきま
す。今までは患者様にとって何が
必要なかが漠然としていまし
た。当院に入院されている患者様
の殆どが、ここで終焉の場を迎え
られています。患者様一人一人の
生活に関わり、何が必要か見つめ
ながら、患者様と向き合ってい
きたいと思えます。

ケアマネージャーとは？

介護保険センター ケアマネージャー 瀧浪 真由美

正式には介護支援専門員と言い、介護保険制度導入と共に生まれた専門職です。

病気や高齢者になっても住みなれた場所で自立した暮らしを安心して送れるよう手助けをするのがケアマネージャーです。利用者様の希望や心身の状態を考慮し、見合った最善の暮らしが継続できるよう、みなさんと、実際に介護サービスを行う人達、医師、看護師、地域のボランティアなどをつなぐパイプ的な存在もはたしています。

☆主な仕事は・・・

ケアマネージャーは利用する方々の立場に立って、主に次のような仕事をしています。

- ・サービス利用の相談、アドバイス
- ・要介護認定などの手続きの代行
- ・ケアプランの作成
- ・介護サービス提供機関との連絡、調整



☆ケアマネージャーとして心がけている事

軌道に乗るまでは何度も訪問させて頂き、利用者様、御家族様の困っている事や要望を十分に聞き、ケアプランを作成するようにしています。又、サービスの内容や料金などもわかりやすく丁寧に説明いたします。お気軽にご相談下さい。

職 員 募 集

- ◎正・准看護師
- ◎介護職員
- ◎介護支援専門員

詳しいお問い合わせは (054)638-3111 担当 事務長まで

編集後記

桜の花びらも、青葉となり爽やかな季節の到来に気持ちが一掃されるようです。しかし季節の変わり目は体調が崩れやすいので管理に十分気を付けていきましょう。

院内報『せいわ』は第三十一号を迎えることができました。今回も院内報の作成に御協力頂きありがとうございます。これからも皆様の御協力と御鞭撻のほど宜しくお願い致します。